



水谷山 寶青寺

宝清寺

七月十四日十一時より当山本堂にて
施餓鬼会法(西女)

七月十三日から十六日はお盆です。お墓を清め、生花を手向けてご先祖を慰め感謝致しましよう。当山では七月十四日十一時より本堂にて、お施餓鬼法要を厳修致します。合同の法要でどなたでも参加できます。お施餓鬼法要終了後には、お齋の用意があります。尚、お盆にはお塔婆を建てて供養する習慣があります。お塔婆のお申込みは同封のお葉書をご利用になり早めにお申し込み下さるようお願い致します。又、お盆には棚経と言つてお寺からお宅にお盆のお経を上げに伺つております。ご希望の方はお寺までお申し出下さい。

仏壇は仏さまをまつる場所
仏壇は仏さまをまつる場所です。仏壇の中のご本尊が安置されているのはそのためです。同時に、仏壇にはその家のご先祖もまつられています。つまり、仏壇には、仏さまを通じて先祖や故人を想い感謝するという二重の意味があります。私たち日本人は、仏壇にお参りすることによって、現在ある自分は先祖のお陰であることに気づくのです。実際、先祖があつてこそ自分であり、先祖がいなければ生きなければならないという願いが託されているのです。その意味で私たちはまさに生かされているといつても過言ではありません。仏壇の前に正座しないわけがないわけ

仏壇と日本人

りよく生きなければならぬという願いが託されているのです。その意味で私たちはまさに生かされているといつても過言ではありません。仏壇の前に正座し静かに手を合わせると、なぜか心がなごみ、静かに自分を省みることができます。そういう経験は日本人ならではもあると思います。理屈でははかれない何かが仏壇にあるのです。次回は「「仏壇は家族の心のよりどころ」について掲載する予定です。

近況とお願ひ

「たちばな会館」は昨年九月の落慶式以来、檀信徒・橋墓苑使用者者或いは近隣地域の方々に、法事の後の会食場所として、又、葬儀の式場として使用され、日を重ねるに随つて利用者も多くなり、最初の心配は全くなく、かえつて立派な施設を借りることができ、大変良い供養ができる

ました」と感謝の言葉を戴きました。「たちばな会館」は檀信徒及び橋墓苑使用者の方に葬儀でご使用戴きました。その方々に感想を伺つたところ、それぞれ、「自宅から遠いことを心配していましたが、当

初の心配は全くなく、かえつて立派な施設として建設したものです。今後も、「た

ちばな会館」は檀信徒及び橋墓苑使用者の方に利用戴けますようお願い致します。

一一、新設墓地建設

第二期工事として分譲を開始した六区の墓地区画数もあとわずかになりました。

二二、新設墓地建設

二二五三)から御入滅された弘安五年(一二

八二)の間に書き残された著述や書簡を「御

遺文」と呼びます。「御書判」「御妙判」「租書」とも呼ばれていています。現在、日蓮聖人の遺文と呼ばれているものは、著書書簡四百九十三点をはじめとして、図録・真筆断簡など膨大な数にのぼります。日蓮聖人の御遺文は、聖人の思想や教養はもとより生活や行動を明らかにする基本的なものですが、当時の政治や社会を知るうえでも重要な文献とされています。さらに御遺文は日本の文化史を知る価値ある資料でもあります。

二三、日蓮宗でよく唱えるお経の意味

「寿量品」とともに日蓮宗で重んじて

いるお経です。このお経では一大事因縁

(仮の出現した目的)を説きあかしてい

ます。仮の出現とは何か、更に、お釈迦

が眼目とす」と教えています。假の

部分を「寿量品偈」と呼びます。

二四、方便口唱第一

「大慈悲の世界」

（救世のほとけさま）

（観世音菩薩）

（般若門口唱第一十五）

（救世のほとけさま）

（般若門口唱第一十五）

（般若